

環境だより



環境課 ☎66・1121

家庭から出される可燃ごみの中には、約20%の紙ごみが含まれています。ごみとして捨てられた紙の中には資源となるもの「雑がみ」があります。

☆雑がみとは

家庭から出される古紙のなかで、新聞・雑誌・ダンボール・飲料用パックのいずれにも区分されないものです。

具体的には、紙袋、紙箱、包装紙、コピー用紙、パンフレット、封筒など紙全般です。

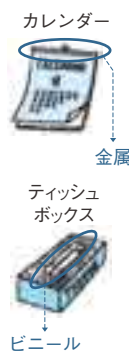


雑がみを資源化し、ごみの減量にご協力ください

そのほかラップの芯、シュレッダーした紙なども資源です。

☆出し方の留意点

紙以外のフィルム、シール、金属類などは取り除いてください。



大きさをそろえ（細かいものは紙袋などに入れて）紙ひもなどで十文字に縛り、資源回収日に出しててください。

☆雑がみに入らない紙類

ビニールコート紙、紙コップなどのワックス加工紙、油紙、カーボン紙、防水加工紙、感熱紙その他製紙原料として不適切なものは可燃ごみとして出してください。

エコバッグ持参運動

蒲郡市商店街振興組合では、平成19年2月28日までエコバッグ持参運動を行っています。期間中、ノーレジ袋・ノー包装にご協力いただいた方にスタンプ1個差し上げます。20個貯めれば100円分の商品券および豪華商品が当たる抽選券となります。

光を観よう



市立交流観光
がまごおり
観光交流立市シンボルマーク

商工観光課 ☎66・1120

と言えるでしょう。

また、すでに冬の定番となっている蒲郡プリンスホテルのイルミネーションツリーも忘れることができません。

その他にも今年は、開湯50周年を記念して西浦温泉街全体がロマンチックに彩られるほか、弘法山の新名所「ラバーズヒル（恋人達の丘）」、形原温泉のロータリー、蒲郡駅南側の歩道などが、それぞれの雰囲気合わせたイルミネーションで彩られています。

夕暮れから点灯しはじめ、夜が深々とふけていくなか本格的な輝きを見せ始めます。蒲郡を彩る冬のイルミネーションめぐりをしてみませんか。きっと皆さんの心を暖かくしてくれることでしょう。

クリスマスソングもあちらこちらから聞こえるようになり、イルミネーションの彩りがより雰囲気を出すようになってきました。ラグーナ蒲郡では、冬の風物詩として定着した「ウインタールミネーション」が始まっています。ラグナシアの幻想的なライトアップも、フェスティバルマーケットのイルミネーションも、年々魅力的になっています。今年の必見は、蒲郡らしさを演出するみかんのイルミネーションです。

そして、ヨットの電飾が水面に映えるマリーナイルミネーションは、県内に数多くある冬のイルミネーションのなかでも、群を抜いた美しさ

イルミネーションの彩り

